

BUDŌ NEWS

今月のニュース

第 63 回全日本合気道演武大会



第63回全日本合気道演武大会

世界に広がる 合気道の輪

第63回全日本合気道演武大会（主催：合気会）が5月23日、日本武道館で開催された。大会では、全国の道場や海外から集まった約8000名が演武を行った。
※詳細は、今月のニュース（87ページ）をご覧ください。

第63回全日本合気道演武大会

合気道—その伝統と神髄



大会を締め括った植芝守中央合気道道主による総合演武

第63回全日本合気道演武大会（主催Ⅱ合気会）が5月23日に日本武道館で開催された。大会では合気道本部道場師範・指導員、全国の道場から集まった師範・門人、さらに世界各国・地域から計323団体・約8000名が演武を行った。観客を合わせ約1万人が来場し、大観衆が見守る中、参加者たちは日頃の稽古の成果を披露した。

開会式では国歌斉唱の後、可児晋大会副会長・合気会理事が開会の辞を述べ、続いて植芝守中央合気道道主が挨拶を行った。



植芝守中央合気道道主



山谷えり子参議院議員・日本武道館常任理事

「第63回全日本合気道演武大会がここ日本武道館で大勢の皆様とともに、開催できますことを大変嬉しく思っております。今大会は公益財団法人合気会を挙げての最大の行事であります。全国の道場、社会人団体、学生団体、さらに海外からの参加を含め、約8000名の方々が出場されます。観衆を合わせますと1万人近くの方々が一堂に会しております。現在合気道は、世界約140の国と地域に大きな輪が出来上がっております。これはもちろん開祖・植芝盛平翁が創始した合気道の素晴らしさ故ですが、吉祥丸二代道主をはじめとする先達の方々、そして現在合気道に真摯に取り組んでいる皆様方の協力によるものだと思います。そして、この大会が合気道の普及・振興の原動力になっていると言っても過言ではございません。本日演武される皆様方は合気道の和合の心を大切に、先達に対して感謝の気持ちを持って演武に臨んでいただきたいと思っております」

続いて、来賓挨拶に移り、山谷えり子参議院議員・日本武道館常任理事が「合気道のお稽古の度に、命は奪い合うものではなく、生かし合う、学び合うものであると教えられ

▼植芝充央合気道本部道場長による自由演武



ている気がします。『たゆまず磨ける道の人々』という言葉をお忘れず、合気道が美しく豊かに生きるための学びであると肝に銘じて、道主、各道場の先生方に感謝しながら今日一日を明日からの稽古に繋げていただきたいと思います」と述べた。

続いて山田美樹衆議院議員、朝日健太郎参議院議員の来賓挨拶、祝辞披露が行われ開会式は終了した。

演武は二部制で、第一部では学生合気道連盟の演武を皮切りに、各団体の指導者の演武が行われた。参加

者は大観衆が見守る中、堂々の演武を披露し、日頃の稽古の成果を存分に発揮した。第一部の最後には、植芝充央合気道本部道場長が自由演武を披露した。

第二部では、海外道場・団体の演武や、師範の自由演武などが行われた。

大会の締め括りには植芝道主が立技、座技、多人数掛けなどの総合演武を披露。演武後には、会場全体から万雷の拍手が送られ、大会は盛会のうちに終了した。



土田稔合気道新庄道場道場長



岡本洋子参同会合気道京都師範

▼木村二郎合気道大阪武育会会長



石原克博合気道石芯塾主席師範



吾妻正義合気道修練道場自然館館長



畑山憲吾合気道研心会代表



追分拓哉合気道福島武道館館長

各道場・団体師範演武



日高浩岩手山麓合気道誠風館館長



稲垣繁實茨城支部道場指導部師範



菅沼守人合気道祥平塾道場長



小林保雄合気道小林道場総師範



五十嵐和男合気道五十嵐道場道場長

▼窪田育弘奈良合気会師範





難波弘之本部道場指導部師範



▶ 栗林孝典本部道場指導部師範



金澤威本部道場指導部師範



小林幸光本部道場指導部師範

▼ 菅原繁本部道場指導部師範



横田愛明本部道場指導部師範



鳥海幸一本部道場指導部師範



藤巻宏本部道場指導部師範



安野正敏本部道場指導部師範



佐々木貞樹本部道場指導部師範



櫻井寛幸本部道場指導部師範



▶ 入江嘉信本部道場指導部師範

合気道本部道場
師範演武

各道場演武・大会の模様



【参加者の声】

・1998年に初めて参加してからほとんど毎回出場していますが、今回も緊張しました。大観衆の前で緊張感はありませんでしたが、気持ちよく演武ができました。（フ랑스・男性）

・演武は間違いこそありませんでしたが、もう少し稽古の成果を出せればよかったです。大観衆の前に緊張しましたが、楽しかったです。（福岡・女性）

・出るまでは緊張していましたが、畳に入る時に気持ちを切り替えて臨みました。この経験がこれからの自分の糧になればと思います。（静岡・男性）

・緊張しましたが、しっかりと声を出して演武できたのでよかったです。大会の前日が誕生日でしたので、いいスタートが切れました。（沖縄・女性）



【演武者一覧】

■第一部

1. 学生連盟演武 関東学生合気道連盟
2. 指導部師範演武 伊藤眞 佐々木貞樹 鈴木俊雄 小山雄二
3. 指導部師範演武 森智洋 櫻井寛幸 桂田英路 難波弘之
4. 道場演武 明清会等々力道場/明清会クラブ、習錬館道場、合気道自由が丘道場、池袋合気道同好会、戸田合気会、愛川合気道会
5. 道場演武 合気道練守道場、新小岩合気会、合気道井道場、東村山合気道会/日高市合気道同好会、城下町合気道（小田原道場）
6. 道場演武 合気道修練道場自然館、合気道小金井同好会、東大和市合気道会、多摩川合気道会、成田合気道友会
7. 道場演武 合気道内道場、堀野昭武会、合気道練馬総合体育館道場、合気道清瀬道場、合気道尾道合気道同好会/合気道ふれあい塾、合気道初心会、仲池合気道同好会
8. 道場演武 荒川合気会、渋谷区合気道同好会、荻窪合気道同好会
9. 道場演武 葛飾合気会、府中合気会、千葉合気道友会、合気道習田道場、合気道・武友会
10. 道場演武 千葉合気道館、深谷合気会、合気道清明塾、合気道正心会、和合合気道修練道場、合気道板橋道場、A & P合気道石垣道場、合気道清流会、東松山合気道クラブ、晴和会
11. 道場演武 大宮合気道倶楽部、船橋合気道道友会、大宮水川合気会、合気道明心会、おしず会合気会、合気道道南会、合気道合気塾、ひたちなか合気会、合気道なごみ会、絆、勝福和合気塾道場/尾山台地域体育館合気道道場、合気道北八王子道場、合気道龍田塾、武産浦帆道場、合気道鹿沼道場、合気道相模和道会、合気道吉勝会、合気道弘龍會明心合気道、合気道三心会、守清館
12. 道場演武 新所沢合気道同好会、我孫子合気会、新郷合気会、一宮町振武館道場合気道会/横浜南合気会、高山合気会/武蔵小杉合気会
13. 指導者演武 鈴木晋策（福岡県）、吉川慶彦（島根県）、佐藤光昭（宮城県）、菅原康（東京都）、中川典夫（愛知県）
14. 指導者演武 木下誠二（兵庫県）、城戸浩政（福岡県）、岡田弘治（広島県）、林宏和（茨城県）
15. 指導者演武 合川幸三（岩手県）、石崎宏鷹（新潟県）、長澤孝将（香川県）、跡部知代（長野県）、田中聡一郎（大阪府）
16. 道場演武 大田区合気道会、合気道門悠会、佐倉合気会、旭合気道クラブ、合気道青葉塾道場
17. 道場演武 つくば合気道会、草加合気道研究会、合気道幸徳会、立川市合気道会/和気會、つくば学園合気会
18. 道場演武 月窓寺道場、合気道麻生同心会、白光真宏会、館林合気道クラブ/城東誠和会
19. 道場演武 中央合気道道場、名古屋合気会、尾張合気会、合気道吹上道場/合気道盛岡道場、岡崎合気道皇道館道場
20. 道場演武 合気道二澤塾、小田原合気会、兵庫合気会、姫路道場赤徳道場、幸徳合気会、凱風館
21. 道場演武 合気道研究会インターナショナル、葉山町合気会

22. 道場演武 桜井昇平（京都府）、松山佳夫（岡山県）
23. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
24. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
25. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
26. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
27. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
28. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
29. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
30. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
31. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
32. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
33. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
34. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
35. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
36. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
37. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
38. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
39. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
40. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
41. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
42. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
43. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
44. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
45. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
46. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
47. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
48. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
49. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
50. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
51. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
52. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
53. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
54. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
55. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
56. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
57. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
58. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
59. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
60. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
61. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
62. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
63. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
64. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
65. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
66. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
67. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
68. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
69. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
70. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
71. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
72. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
73. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
74. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
75. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
76. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
77. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
78. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
79. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
80. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
81. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
82. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
83. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
84. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
85. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
86. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
87. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
88. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
89. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
90. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
91. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
92. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
93. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
94. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
95. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
96. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
97. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
98. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
99. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）
100. 道場演武 飯村浩一（埼玉）、飯村浩一（埼玉）

1. 学生連盟演武 関西学生合気道連盟、中部学生合気道連盟、中国学生合気道連盟
2. 学生連盟演武 全九州学生合気道連合会、北海道学生合気道連盟、東北学生合気道連盟、全国高等学校連盟
3. 高等学校連盟演武 中学校演武
4. 文化センター演武 日本武道指導部道学園合気道教室、えきスポ梅島、趣町合気会、立川健友会、華深会、ロンドスクールマックス成増合気道教室
5. 文化センター演武 所沢カルチャーセンター合気道教室、相模原カルチャーセンター/昭島カルチャーセンター、相模原カルチャーセンター/古瀬、よみうりカルチャー（恵比寿）大森合気道、川口/北住、八王子/横浜/川崎/錦糸町/自由が丘
6. 国際合気道連盟演武 イタリア合気会/リトアニアA A F、ポーランドP A F、韓国K A F、アルジェリアA A F、アメリカUSA F、香港合気道協会/ハンガリー合気会、エジプトACE F、CONGO C A、スペインF N A E、エジプトE A、中国
7. 海外道場演武 MYANMAR AIKIDO ASSOCIATION（ミャンマー合気道協会）、台湾合気道推廣訓練協進會（Kaiuan Dojo）、台湾合気道推廣訓練協進會、合気道興流会、KORAI AIKIDO UNION、台湾合気会、AMERICAN AIKIKAI FEDERATION
8. 指導者演武 牛島靖仁（兵庫県）、宮永一真（群馬県）、松本古弘（佐賀県）、藤田由紀（福岡県）、足立原教（山形県）、指導者演武 伊達隆文（宮城県）、市村康紀（埼玉県）、広瀬健一（神奈川県）、高城久富（埼玉県）、福井悠（奈良県）
9. 指導者演武 家吉正明（栃木県）、嶋田守（岐阜県）、指導者演武 長野県、宝賀泰樹（北海道）、BERCEA ADRIAN（大分県）、米中克明（山口県）、渡邊泰年（岡山県）、植田隆博（大分県）、富田隆志（滋賀県）、水谷英郎（愛知県）
10. 指導者演武 黒河志保（東京都）、Mitch Troop（茨城県）、佐藤友和（群馬県）、山本晃市（京都府）、山田努（広島県）
11. 指導者演武 立健一（新潟県）、大塚徹（愛媛県）、石原匡師（静岡県）、山本博史（石川県）、中島昭典（島根県）
12. 道場演武 佐久合気道会、大塚道場明道館、合気道能野塾道場/合気道健武館、平塚合気会、一心会
13. 道場演武 相模合気会、神戸せいぶ館、合気道岐すみさき館、京都合気会、武蔵村山市合気道会、合気道岐阜、合気道新宿スポーツセンター合気道教室、北総合気会、鷹の台合気道同好会、合気道（倫）/合気道入江道場、久喜合気道同好会
14. 道場演武 小牧合気会、双峰合気道会、合気道れいめい会、かながわ合気会、王禪寺合気道場
15. 道場演武 合気道小林道場
16. 道場演武 日経合気道クラブ、裁判所合気道部、合気道正隆会、松戸市役所合気道部/東京税理士会麻布支部合気道部、シル合気道部/広島市役所合気道部
17. 社会人団体演武 三菱合気道部、東芝合気道部、明治大学教職員合気道部、理双会/川崎市役所合気道部、第一三共合気道部/公認会計士協会合気道同好会
18. 指導者演武 小松田正典、秋田県、板井智裕、福岡県、岩崎正美、千葉県、位田紀行、三重県、深野匡希和歌山県
19. 師範演武 合気道修練道場自然館館長、呂孝正義、A K I専任国際指導、山本洋、合気道龍越道場道場長、堀越祐嗣、名古屋至道館館長、平岩雅彦（公財）大阪合気会指導部師範、吉田智智
20. 指導者演武 参同会合気道京道師範、岡本洋子、合気道奥州道場道場長、菅原美喜子、合気道弘龍會明心合気道館館長、五月女重夫、一修会代表、中山栄一、合気光林館道場道場長、米谷恵司
21. 師範演武 合気道神武錬成塾塾長、白川勝敏、相生會師範、堀井悦一、合気道鈴木道場道場長、鈴木順子、合気道新庄道場道場長、土田稔
22. 道場演武 中野区合気道会、中央区合気会、千代田区合気会、港区合気会、文京区合気会
23. 道場演武 江川区合気道連盟、北区合気道会、板橋区合気会、八千代市合気道連盟、品川区合気道交友会
24. 道場演武 青山会、市原合気会、小山合気道会、大泉合気道同好会、合気道松心館
25. 道場演武 合気道祥平塾、西新宿合気会、合気道回灯江戸崎合気会、横浜国際合気道会、鎌ヶ谷合気会、横須賀市合気道連盟、城南合気会、鎌ヶ谷合気会、合気道相模道場、相模原市合気道連盟、合気道相模道場、合気道足沢クラブ、合気道黎明道場志本合気会
26. 道場演武 流山合気道同好会、浜風合気会、青葉塾、東京合気道秀和会、合気道研修館
27. 道場演武 里見八朗会、合気道奥州道場、新宿合気会、合気道正心会、合気道上野道場/府中合気会
28. 道場演武 大宮合気道会、合気道清流会、合気道練成会、合気道正武会、袖ヶ浦合気会/合気道青楓会、合気道同好会立川倶楽部、茨城合気道道場、調布合気道会、京都近江合気会、合気道明倫館、本部道場山門合気会、本部道場少年部演武、本部道場一般
29. 道場演武 岩手山麓合気道誠風館館長、日高浩治、合気道福島道館館長、追分拓哉、本部道場指導部師範、菅原繁、本部道場指導部師範、小林幸光
30. 道場演武 合気道五十嵐道場道場長、五十嵐和男、石原克博
31. 自由演武 合気道大阪体育会会長、木村二郎、本部道場指導部師範、島津幸一、本部道場指導部師範、横田愛明
32. 自由演武 奈良合気会師範、窪田育弘、本部道場指導部師範、安野正敏、茨城支部道場指導部師範、福垣繁實
33. 自由演武 合気道祥平塾道場長、菅沼守人
34. 自由演武 合気道小林道場館師範、小林保雄

- 総合演武 合気道道主・植芝守央
43. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 44. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 45. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 46. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 47. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 48. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 49. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 50. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 51. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 52. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 53. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 54. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 55. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 56. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 57. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 58. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 59. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 60. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 61. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 62. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 63. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 64. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 65. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 66. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 67. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 68. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 69. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 70. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 71. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 72. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 73. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 74. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 75. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 76. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 77. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 78. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 79. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 80. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 81. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 82. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 83. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 84. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 85. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 86. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 87. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 88. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 89. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 90. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 91. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 92. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 93. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 94. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 95. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 96. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 97. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 98. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 99. 道場演武 合気道道主・植芝守央
 100. 道場演武 合気道道主・植芝守央



和太鼓深沢組永鼓による演奏



日本剣道形の演武（打太刀：石川薫氏、仕太刀：浦和人民）

第1回 アジア・オセアニア剣道選手権大会

1st Asia Oceania Kendo Championships TOKYO2026

交剣知愛 海越える

—東京武道館で初開催 23の国と地域が集う—

第1回アジア・オセアニア剣道選手権大会（主催IIアジア・オセアニア剣道連盟（AOKF）が5月30・31日に東京都足立区の東京武道館で開催された。

AOKFは、ヨーロッパ、ラテンアメリカに次ぐ第3の地域連盟として昨年12月1日に誕生した。設立を記念して開催された本大会には、23の国と地域から総勢267名の選手が集い、男女別の個人戦2部門（三段以下の部、段位無制限の部）と男女別の団体戦（5人制）の計6部門で熱戦が繰り広げられ、各部門の初代王者が決定した。なお、個人戦三段以下の部には、日本と韓国以外の選手が出場した。

日本勢は、個人戦（段位無制限の部）と団体戦で男女とも金メダルに輝き、完全優勝を果たした。

1日目の試合開始前には、日本剣道形の演武や和太鼓深沢組永鼓による演奏が披露され、試合の間には居合道・杖道・木刀による剣道基本技稽古法の演武と三道体験会が催され、賑わいを見せた。





女子団体戦決勝

副将戦＝日本の優勝を決めた松本（左）の小手



男子団体戦決勝

先鋒戦＝清家（右）が小手を決める



決勝を前に緊張感に包まれる日本チーム



次鋒戦＝諸岡（右）が面を奪う



優勝を決めて健闘を称（たた）え合う日本チーム



次鋒戦＝真田（左）が小手を決める

▽女子（17チーム）
決勝 日本4―0韓国
 決勝は、男子と同様に日本と韓国の対戦になった。
 先鋒戦、水川晴奈（日本）とY.KIM（韓国）の戦いは、水川が面を2本連取して勝利。
 次鋒戦は、諸岡温子（日本）が一瞬の隙を見逃さず、面を決めて一本勝ち。
 中堅戦は、竹中美帆（日本）とS.PARK（韓国）の対戦。両者譲らぬ攻防をみせ、引き分けに。
 日本が王手をかけた副将戦、松本智香（日本）が飛び込み面を決めて先取し、さらに小手を連取して快勝。日本はこの時点で3勝し、大将戦を待たずに優勝を飾った。
 大将戦は、序盤に妹尾舞香（日本）がH.HAN（韓国）に面を決めて一本勝ちを収めた。
 男女とも、日本の安定した強さを見せつける結果となり、来年5月27～30日に日本で開催される第20回世界剣道選手権大会に弾みをつけた。

▽男子（20チーム）
決勝 日本4―0韓国
 決勝には、日本と韓国が勝ち上がった。
 先鋒戦は、清家羅偉（日本）とO.KWON（韓国）との対戦。KWONが手元を上げたところに、清家が小手を決めて一本勝ちした。続く次鋒戦では、真田裕行（日本）が面・小手の連続技を放ち、鮮やかな小手で一本。飛び込み面も冴え、2本勝ちを収めた。
 中堅戦は、星子啓太（日本）とH.KIM（韓国）の一戦で、勝敗を左右する重要な局面を迎えた。両者一進一退の攻防を繰り返す接戦となり、引き分けに終わった。
 副将戦、松崎賢士郎（日本）はK.CHO（韓国）に小手を先取され苦しい展開に。後がなくなった松崎だったが引き面、飛び込み面を決めて勝利。この時点で日本が3勝を挙げ、大将戦を残して勝利を決めた。
 大将戦では、竹ノ内佑也（日本）は胴を先制されたものの、面を2本取り返して逆転勝利した。

団体戦



▲男子・三段以下の部決勝Ⅱ中段に構えるLee (左) が体格差を乗り越え勝利



女子・三段以下の部決勝＝TSAO (右) の1本目の面

▽男子・三段以下の部 (41名)
決勝
Max Lee
x t — Joshua WILDEY
決勝はLee (ニュージーランド)とWILDEY (オーストラリア)の一戦。上段に構えるWILDEYに対してLeeは中段に構える。中盤戦、Leeは面で一本を奪うと、すぐさま小手も決めて2本勝ちを収めた。

▽女子・三段以下の部 (32名)
決勝
Wei-Ting TSAO
x x — Samantha ZHONG
決勝はTSAO (チャイニーズ・タイペイ)とZHONG (オーストラリア)の対戦。序盤から両者激しく打ち合う試合展開となった。中盤戦、TSAOが面を繰り出し一本を奪い、立て続けに2本目の面を決めて優勝を決めた。

■個人戦

▽男子・段位無制限の部 (43名)

決勝

大平翔士

コー

木村恵都

決勝は、日本選手同士の対戦。両者激しい攻防を見せるが互いに攻め手を欠き延長戦に突入。1回目の延長戦では勝負が決まらず、2回目の延長戦へ。大平が間隙を縫って小手を決め勝負あり。初代王者に輝いた。

▽女子・段位無制限の部 (38名)
決勝
高橋萌子
コー

外山みのり

決勝は、全日本女子剣道選手権大会で過去3回優勝している高橋萌子と外山みのりの日本選手同士の試合となった。中盤戦、高橋は外山の瞬の隙を見逃さず、小手を決めて先取した。その後も高橋は攻めの姿勢を崩さずに1本を守り切り試合終了。高橋が栄冠に輝いた。



男子・段位無制限の部決勝＝2回目の延長戦で大平 (右) が小手を決める

日本武道館の単行本



剣道の文化誌 明治大学教授 長尾 進 著
四六判・上製・480頁・定価2,640円

本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひ一読を。



剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著
四六判・上製・516頁・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。



柔道 その歴史と技法 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著
四六判・上製・330頁・定価2,640円

柔道の技法が、どのように形づくられてきたのかを、体術の起こり、柔術諸流派の歴史に遡り、丁寧にひもとく。さらには、全日本選手権やオリンピックをはじめとした各種競技大会にみられる技法を分析し、今後の課題を探る。



空手道 その歴史と技法 小山正辰・和田光二・嘉手刈徹 著
四六判・上製・568頁・定価2,640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手刈徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手刈氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一作。



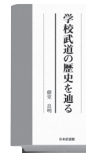
マンガ・日本武道風土記 漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著
B5判・並製・248頁・定価1,100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみては。



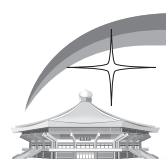
死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著
四六判・上製・342頁・定価2,640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ



学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著
四六判・上製・354頁・定価2,640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。



ご注文・お問い合わせ

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>



女子・段位無制限の部決勝＝高橋 (左) が外山に小手を決めて勝利



各国の選手が親交を深めた大会となった



閉会式後、ベトナム選手との記念撮影に収まる松本選手



杖道体験会・子どもたちも大人と同じサイズの杖（長さ128cm・直径2.4cm）を使って体験した



剣道体験会・紙風船割りでは、紙風船がバンッという音とともに割れると体験者の顔に笑顔が広がった



木刀による剣道基本技稽古法の演武



居合道体験会・新聞切りを行った

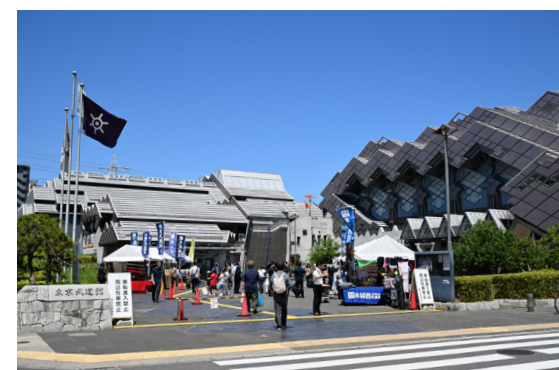
居合道・杖道・木刀による剣道基本技稽古法の演武、三刀体験会



二刀流の選手が多く見られた



初日の表彰式終了後に合同稽古が行われ、各国の剣士たちは八段の先生方と剣を交えた



試合会場となった東京武道館



子どもからお願いされたサインに応じる松崎選手



「アジアを制する者は世界を制する」と言われています。今大会では個人戦に三段以下の部を設けましたが、選手たちは、のびのびと、礼儀正しく試合をしてくれました。今後のさらなる成長を期待しています。本大会は3年後に韓国で開催されます。今日の試合をどこまで自分のものに、さらに精進していけるか、3年後の選手たちの姿が楽しみです」



◎ 蒔田実アジア・オセアニア剣道連盟（AOKF）会長にインタビュー

【大会成績】

○団体戦

▼男子団体

①日本②韓国③チャイニーズ・タイペイ、タイ

▼女子団体

①日本②韓国③シンガポール、オーストラリア

○個人戦

▼男子個人戦段位無制限の部

①大平翔士（日本）②木村恵都（日本）③SANGJUN KIM（韓国）、JAESEON JANG（韓国）

▼女子個人戦段位無制限の部

①高橋萌子（日本）②外山みのり（日本）③Wei Yi WONG（シンガポール）、HANEUL HAN（韓国）

▼男子個人戦三段以下の部

①Max Lee（ニュージーランド）②Joshua WILDEY（オーストラリア）③Anan SAKURAI（タイ）、Jeffery CHUNG（シンガポール）

▼女子個人戦三段以下の部

①Wei-Ting TSAO（チャイニーズ・タイペイ）②Samantha ZHONG（オーストラリア）③Biranda KOMJATI（トルコ）、Panyanat REKPITVIT（タイ）

第48回全日本高齢者武道大会

武道と歩んだ歳月を力に



開会式で整列する選手たち



会場では剣友同士の和やかな会話や笑顔が広がっていた

第48回全日本高齢者武道大会（主催Ⅱ全国老人福祉助成会、共催Ⅱ全日本高齢剣友会）が6月8日、日本武道館で開催された。剣道と銃剣道の2種目の試合が行われ、全国から集った849名の選手が長年の鍛錬により培われた技と気迫あふれる試合を繰り広げた。

本大会では、剣道は都道府県対抗の団体戦と年齢別の個人戦（いずれも男女）、銃剣道は都道府県対抗の団体戦、個人戦、基本技競技が行われる。出場する選手は、剣道は55歳以上、銃剣道は50歳以上と、いずれも「生涯武道」を実践する武道家で、剣道の最高齢選手は91歳、銃剣道の最高齢選手は83歳であった。選手たちは武道とともに歩んだ歳月を力に変え、白熱した試合を繰り広げた。



本大会の最高賞である内閣総理大臣賞を受賞した。

臣賞は、剣道の寿A組（85歳以上）と寿B組（80～84歳）の優勝者による争奪戦で争われる。今大会は、寿A組優勝の上北朝也（愛知）と寿B組優勝の美馬勝行（徳島）が対戦し、美馬がコテ2本で勝利し初の内閣総理大臣賞を受賞した。



本大会を共催する全日本高齢剣友会は、会員増に向けた積極的な活動により年々会員を増やしており、大会事務局によれば本大会の参加者も近年は増加しているという。参加者増に伴い、試合時間の短縮や判定の導入など大会運営にも工夫が施され、本大会は引き続き「生涯武道」実践の場として受け継がれていく。



【剣道 内閣総理大臣賞争奪戦】美馬勝行（左）対上北朝也



【剣道 全国老人福祉助成会賞争奪戦】石川美奈子（新潟・左）対堀井純子（富山）



【剣道 男子C組】決勝 三浦治（神奈川・左）対北村卓士（京都）



【銃剣道 基本技競技】決勝 長谷川元（新潟・右）対福田浩之（栃木）



【銃剣道 団体戦】決勝 山梨県対東京都B（写真は大将戦）

●内閣総理大臣賞・寿B組優勝Ⅱ 美馬勝行選手（徳島）

御年80歳。「こんな名誉ある賞をいただけるとは思いませんでした。やっぱり剣道を長くやっていると、良いこともあるな」と思った」と語った。

普段の稽古については「高齢剣友会の月2回の稽古と、お世話になっている先生の道場で毎週月曜日に稽古しています。稽古のモチベーションはもっぱら健康のためです」とのこと。「稽古は大変で辛いです、また来年もこの大会に出るために、しっかりと稽古を継続していきたいと思います」と笑顔で語った。

演武

居合

〈立 会〉 畠中篤美範士八段
〈演武者〉
大野吉紀教士七段、橋本政美教士七段、吉田由美教士七段、
三浦康典教士七段、鬼久保信夫教士七段

銃剣道形

〈打 方〉 佐賀良幸光範士八段
〈仕 方〉 山田明範士八段

日本剣道形

〈打太刀〉 鎌塚いづみ教士七段
〈仕太刀〉 城戸内雅美教士七段



居合



日本剣道形



銃剣道形

【大会結果】

組名		優勝		準優勝	3位
剣道	寿A組 (85歳以上)	内閣総理大臣賞	上北 朝也 (愛知)	福田 健治 (埼玉)	望月 房雄 (神奈川) 岡本 守雄 (高知)
	寿B組 (80～84歳)	美馬 勝行	美馬 勝行 (徳島)	渡辺 秀男 (埼玉)	岡本 邦靖 (東京) 久松 好弘 (東京)
	特組 (75～79歳)	佐伯 勝行 (福岡)		島崎 厚二 (東京)	本元 義明 (富山) 佐々木秀一 (神奈川)
	A組 (70～74歳)	湯瀬 秀則 (秋田)		小田 弘 (栃木)	長谷川恵一 (三重) 島田 恵造 (栃木)
	B組 (65～69歳)	田邊 勉 (千葉)		関口 啓一 (埼玉)	馬場津雅佐 (神奈川) 森 健志 (愛知)
	C組 (55～64歳)	三浦 治 (神奈川)		北村 卓士 (京都)	石田 久人 (長野) 三松 淳 (北海道)
	女子個人戦A組 (65歳以上)	全国老人福祉助成会賞	堀井 純子 (富山)	福田 智子 (北海道)	古濱久美子 (岩手) 吉田美佐子 (神奈川)
	女子個人戦B組 (55～64歳)	石川美奈子	石川美奈子 (新潟)	千葉まり子 (千葉)	岩崎真由美 (兵庫) 小島 克枝 (愛知)
	団体戦 (男子)	福岡県		新潟県	愛知県、福島県
	団体戦 (女子)	愛知県		神奈川県	福岡県、奈良県
銃剣道	個人戦 (50歳以上)	乙丸 勝樹 (千葉)		長谷川 元 (新潟)	
	基本技競技 (50歳以上)	長谷川 元 (新潟)		福田 浩之 (栃木)	
	団体戦	山梨県		東京都B	



▽並木昭子さん (東京都・83歳)

①「48歳から剣道を始めて、今は体を気遣いながら週に2回の稽古をしています」

②「先輩後輩の関係の中で礼儀や思いやりを学んでほしいです。若いうちは勝ち負けにこだわってしまいかもですが、私たちぐらいの年齢になると勝ち負け以外のことが大切になってきます」

③「まだ地元の市民大会などにも出させてもらっているのですが、これからはそういった大会に出続けられるように稽古していきたいです」



▽福田智子さん (北海道・70歳)

①「中学校の外部指導者をしているので稽古自体は週に4、5回しています」

②「武道の稽古は厳しく大変なのですが、『打たれ強さ』を鍛えるのにとっても効果的だと思います。自分の力を余したまま諦めてしまう子どもが多い気がするのですが、ネバーギブアップの精神が武道によって身につけてくれると嬉しいですね」

③「教員時代に全国制覇をすることができなかったのですが、今は『100歳まで元気に剣道を続けられれば日本一になれる』と思って稽古しています」



▽坂本和代さん (奈良県・68歳)

①「火曜日と金曜日に朝6時からの稽古があり、週2回しています。その稽古には若い人も参加されているので、体力だけでなくメンタルも鍛えられています」

②「武道を学ぶ上で『長幼の序』をしっかり守ってほしいです。高段者の先生や先輩に敬意を示す、整列で上座を譲るなどの礼儀はとても大切です」

③「来年六段の審査に挑戦できるので、それに向けて稽古に励みます」



▽福田健治さん (埼玉県・85歳)

①「週1回の稽古は欠かさずしています。その他の時間は、パソコンで剣道関連の動画を見ながら研究しています」

②「武道の稽古は辛いものですが、子どものうちに『努力すればなんでもできる』ということや、忍耐力を身につければ、社会人になってそれが生きてくると思っています」

③「今は選手としてではなく健康維持のために稽古をしています。体を鍛えることは自分に自信をくれるので、これからもマイペースに稽古を頑張っていきたいです」



▽皆川 浩さん (神奈川県・83歳)

①「稽古の頻度は週3回 (水・土・日曜日) で水曜日は午前10時から11時半まで朝稽古をしています。朝のウォーキングや趣味の釣りなどで体を動かして、健康に気をつけています」

②「子どもたちには正しい心で、正しい剣を学んでほしいです。そして伝統文化である武道を受け継いでもらって、心身ともに健全な人に育ってもらいたいです」

③「今は寿B組に出場しているので、寿A組に出場するまでこの大会に出続けたいです」



▽岡本邦靖さん (東京都・83歳)

①「大体週に2、3回稽古をしています。その他には畑仕事やゴルフで体を動かしています」

②「子どもの頃に学んだ技は、大人になっていくにつれて忘れていってしまいましたが、礼儀作法やしつけの学びは、たとえ武道の稽古をやめてもずっと残るものだと思います。厳しい稽古でもすぐにやめてしまわずに、続けていくことで大きなものを得られると思います」

③「これからもこの大会に出続けられるよう、稽古を頑張りたいと思います」



児童を前に説明を行う有竹講師

授業は3、4時間目の続き授業とし、6年生・全4クラス119名を対象に実施。日野市空手道連盟の有竹隆佐講師他4名が指導した。

はじめに有竹講師が空手道の歴史や成り立ち、礼の意義などについて映像を用いて説明。空手道のイメージを児童たちに投げかける場面もあった。

実技では、はじめに立礼や座礼を行った。最初は戸惑っていた児童たちであったが徐々に慣れてきて、綺麗な所作でできるようになった。続いて八字立ちから正拳突きを行うと、「エイッ！」という掛け声が一斉に体育館全体に響きわたった。

その後、騎馬立ちや前屈立ち、蹴

4時間目の冒頭、日本大学空手道部の3名による形演武（燕飛）が披露された。一糸乱れぬ俊敏な動きや息遣い、道着が擦れる音を児童たちは真剣な眼差しで見学。演武が終わると大きな拍手が送られた。

有竹講師からは、「形は常に相手を想定しているので、技が決まったあとに相手の反撃を注視して元に戻る『残心』を意識することが大切だ」と解説があった。

その後、実際に基本形1を体験したところ、回転する際の足の使い方



日本大学空手道部による形演武披露

り、受けなどを行った。3時間目の最後には2人1組で対人稽古を行い、児童同士で教え合う場面も見られた。



質疑応答の様子

に戸惑いを見せる児童も多くいたが、そこは6年生で吞み込みが早く、繰り返し練習するうちにスピードもついて、気合もみなぎるところまでできるようになった。

最後に形演武の手法を行いたい児童を募ると11名が挙手。前に出て取り組みの成果を披露した。

質疑応答では、「技は何種類あるのか」「一番難しい技や形は」「帯の色は何色あって、色分けの違いはなにか」などの質問が次々と寄せられ、今回の体験教室で興味・関心が湧いた様子を窺うことができた。



挨拶を行う日野市空手道連盟 日野正剛会長

■授業の振り返り

授業終了後、関係者による振り返りが行われた。はじめに日野市空手道連盟の日野正剛会長より本事業の取り組みの目的が改めて述べられ、有竹講師より「時間はタイトであったが6年生だからできたのかもしれない」と発言があり、他の出席者からは、「短い時間の中で運営の連携がすばらしかった」、「これだけの生徒数なので講師の人数をもう少し増やしてもよいかもしれない」などの意見が出された。全日本空手道連盟の日下修次学校武道推進委員会相談役からは「5年間の日野市の取り組みの成果は、小学校武道授業の必修化に向けてモデルケースとなる。連盟としてもさらに発信していきたい」と発言があった。



市内の小学校に広がる空手道 心と体を育む体験教室



礼節や思いやりの心も学ぶ

5月26日、東京都日野市立日野第四小学校で空手道の体験教室が行われた。

日野市では2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピックでウクライナ空手選手団のホストタウンであったこともあり、大会後の令和4年度から本年度までの5年間の計画で、日野市空手道連盟協力の下、市内全17校の小学校で空手道体験教室を実施。本年度は4、6年生約1600名が体験を予定しており、同校が本年度1校目の実施となった。また今回は、公益財団法人全日本空手道連盟が主催する「学校訪問プロジェクト Karate Do! 空手道体験授業」の支援により、演武者の派遣や教材の提供を受け実施された。